

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

幾重にも絡み合う旋律、豊潤なサウンド。
湧き上がる、奥深い幸福感。

リヒャルト、最果ての美。

— 身震いするほどの陶酔的な世界 —

ミュンヘン国際コンクール優勝の本格派。
銘器ストラディヴァリの温かな音色で魅了

チェロ **石坂圓十郎**
Cello= DANJULO ISHIZAKA

ヴィオラ **柳瀬省太**
(読響ソロ・ヴィオラ)
Viola= SHOTA YANASE
(YNSO Solo Viola)

ウィーン国立歌劇場などで活躍し、
欧州で注目を浴びるドイツの新鋭

指揮 **コルネリウス・マイスター**
(読響首席客演指揮者)
Conductor= CORNELIUS MEISTER
(YNSO Principal Guest Conductor)

R.シュトラウス:交響詩「ドン・キホーテ」作品35
R.シュトラウス:歌劇「カプリッチョ」から前奏曲と月光の音楽
R.シュトラウス:歌劇「影のない女」による交響的幻想曲

R. STRAUSS: Don Quixote, op. 35
R. STRAUSS: Prelude and Moonlight Music from "Capriccio"
R. STRAUSS: Symphonic Fantasy from "Die Frau ohne Schatten"

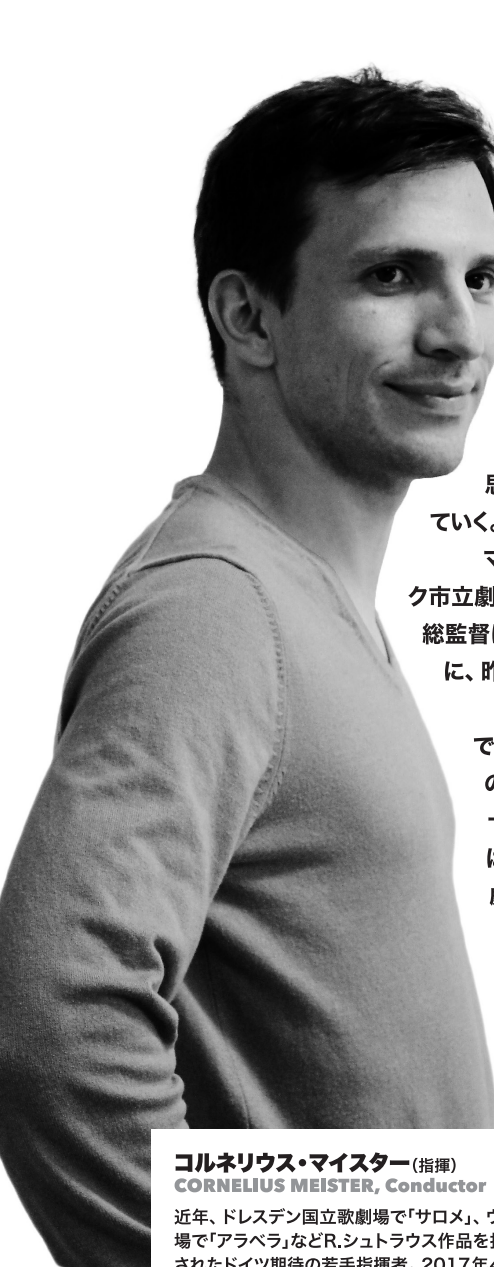
読売日本交響楽団 第579回 定期演奏会

2018 6.19(火) 19:00 **サントリーホール**
S¥7,500 A¥6,500 B¥5,500 C¥4,000

Subscription Concert, No. 579 / Tuesday, 19th June 2018 19:00 / Suntory Hall

読響チケットセンター **0570-00-4390** (10時-18時・年中無休)
<http://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会 協力: アフラック



ドイツ期待のマイスターのタクトが誘う R.シュトラウスの 豊潤な響きに酔いしれる夜

江藤光紀(音楽評論家)

2014年9月、コルネリウス・マイスターが読響と初共演した「アルプス交響曲」を、いまでも鮮やかに
思いたす。各奏者の技量を引き出してソリストティックな彩りを加えつつ、厚手に書かれたスコアを存分に鳴らし
ていく。この印象的なコンサートからややあって首席客演指揮者就任が発表された。

マイスターはドイツ各地の劇場を渡りキャリアを築いた、いわゆるたたき上げ指揮者の典型だ。ハイデルベル
ク市立劇場で音楽総監督を務めたのち、今秋からはカンブルランの後を継いで名門シュトゥットガルト歌劇場の音楽
総監督に就任する。コンサート指揮者としてもウィーン放送響を率いるなど、今後音楽界をけん引していく才能だけ
に、昨春より始まった読響との継続的なコラボも非常に楽しみだ。

6月の定期演奏会はオール・R.シュトラウス・プロ。卓越したオーケストレーションでどんな情景でも描写
できたシュトラウスをさらに深掘りする。セルバンテスの小説に基づく交響詩「ドン・キホーテ」では、風車や羊
の群れなどの管弦楽のユーモラスな表現が聴きどころ。ドン・キホーテ役の独奏チェロはボン生まれの石坂団
十郎。90年代末から各種コンクールを総なめにしてきた才能も中堅の域に入ってきた。従者サンチョ・パンサ
は読響ソロ・ヴィオラの柳瀬省太。曲に込められた諧謔やペーソスを二人が骨太に描き出してくれるだろう。歌
劇「カプリッチョ」より前奏曲と月光の音楽は、弦楽合奏とホルンによる甘美で官能的な歌が聴衆を桃源郷に
運ぶ。歌劇「影のない女」による交響的幻想曲はオペラから抜粋された20分ほどの管弦楽曲。影をめぐる靈
界の呪いを愛と救済によって乗り越えるメルヘンチックな物語を、シュトラウスはフルオーケストラのたっぷ
りとしたサウンドで彩っている。戦争直後の作曲家自身による実用的な編曲を下敷きに、現代音楽の大家
ペーター・ルジツカが原作のゴージャスな味わいを復元したハイブリット・ヴァージョンも面白そうだ。

オペラの呼吸も熟知するマイスターだけに、オケからヴィヴィットな喚起力を引き出してくれるだろう。
R.シュトラウスの音が呼び覚ます豊饒なイメージの世界に酔いしれたい。



石坂団十郎(チェロ)
DANJULO ISHIZAKA, Cello

欧州を拠点に世界各地で活躍する俊英チェリ
スト。日本人とドイツ人の両親を持ち、ミュン
ヘン国際音楽コンクール、ルトスワフスキ国際
コンクールなど数多くの国際コンクールで優勝。
これまでエッセンバッハ、ノリントン、スラッ
トキンらの指揮でバイエルン放送響、ウィーン
響、ロンドン・フィルなどと共演。数々のCDを
リリースし、ドイツの権威あるエコー・クラシッ
ク賞、グラモフォン・アワードに輝くほか、齋藤
秀雄メモリアル基金賞を受賞。現在、バーゼル
音楽院とベルリン芸術大学で教鞭を執っている。
楽器は日本音楽財団より貸与された1730年
製ストラディヴァリウス「フォイアマン」。



柳瀬省太(ヴィオラ)
SHOTA YANASE, Viola

東京芸術大学、桐朋学園ソリスト・ディプロマ
コースに学ぶ。ジュネーヴ国際音楽コンクール・
ディプロマ賞、淡路島しづかホール・ヴィオラ・
コンクール第1位。渡欧し、シュトゥットガルト
歌劇場管などで活躍。2009年から神奈川フィル
首席ヴィオラ奏者を務めた後、14年から読
響ソロ・ヴィオラ奏者を務めている。ソロや室
内楽活動も展開し、ストリング・クワルテット
ARCOのメンバーとしても活躍している。

コルネリウス・マイスター(指揮) CORNELIUS MEISTER, Conductor

近年、ドレスデン国立歌劇場で「サロメ」、ウィーン国立歌劇
場で「アラベラ」などR.シュトラウス作品を指揮し、高く評価
されたドイツ期待の若手指揮者。2017年4月から読響の首
席客演指揮者を務めている。1980年ハノーファー生まれ。
05年から12年までハイデルベルク市立劇場の音楽総監督
を務め、10年からウィーン放送響の首席指揮者兼芸術監督
の任にある。18年9月からシュトゥットガルト歌劇場の音楽
総監督に就任する。ロイヤル・コンセルトヘボウ管、バイエル
ン放送響、バリ管、ベルリン放送響、北ドイツ放送響、パー
ミンガム市響など世界の一流楽団と共演。オペラでは、ミラ
ノ・スカラ座、英国ロイヤル・オペラ、バイエルン国立歌劇場、
ベルリン・ドイツ・オペラ、チューリヒ歌劇場などで活躍して
いる。2019年にはメトロポリタン歌劇場にデビューする。

読売日本交響楽団 第579回 定期演奏会

2018年6月19日(火)19時開演

サントリーホール 東京都港区赤坂1-13-1 Tel. 03-3505-1001

S ¥7,500 / A ¥6,500 / B ¥5,500 / C ¥4,000

●東京メトロ南北線「六本木一丁目」駅(3番出口)より徒歩約5分 ●東京メトロ銀座線「溜池山王」駅(13番出口)より徒歩約7分

■学生券: 学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。
■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

※10時～18時・年中無休

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

※座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017